

下水道機構の『新技術情報』 第75号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

昨日は、爆弾低気圧が関東甲信越地方に大雪をもたらしました。南国娘は、大はしゃぎで大きな雪だるまをつくりました！が、喜びも束の間、今朝は路面凍結でやっとの思いで職場にたどり着きました。降雪のあった地域の皆様、どうぞお気をつけください！

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第75号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・2/8日(金)大阪、15日(金)東京で、下水道新技術研究発表会を開催します
- ・1月のサロンは「水の天使」酒井美帆さんをゲストに開催しました

■機構の動き

- ・今週は、1/16(水) 下水道クイックプロジェクト推進委員会を開催します！

■Tea Break

- ・一期再会 (研究第二部 相方はひかりちゃんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・1/1付ニューフェースの研究第一部 森谷主任研究員からのメッセージ

■国からの情報

- ・1月10日付及び7日付号外、下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話題です)

●2月8日(金)大阪、15日(金)東京で、下水道新技術研究発表会を開催します

第18回下水道新技術研究発表会を2月8日(金)大阪市西区大阪科学技術センター、2月15日(金)東京都港区発明会館で、両会場とも13:00～16:45に開催します。今回の発表会には、国土交通省下水道部の塩路下水道事業課長と国際建設技術協会国際建設技術研究所 池田研究第二部長のお二人を特別ゲストとしてお招きし、水に関する国内外の最新情報として、それぞれ「下水道をめぐる最近の話題」、「世界の水害発生状況と水分野の国際協力」についてご講演いただきます。当機構からは各

研究部長が、今年度の主要テーマである「シミュレーションを活用した耐津波対策計画策定」、「長寿命化計画策定に向けた新技術」、「N2O 抑制、省コスト、エネルギー有効利用技術」等について、研究成果を発表いたします。なお、土木学会の継続教育(CPD)プログラムにも認定されていますのでご活用下さい。公共団体、企業等の下水道技術者等を対象に、参加費は無料(テキストが必要な場合は、テキスト代1,000円)で参加者を募集中です。

参加をご希望される方は、当機構ホームページから Web 申し込みをお願いします。

→ [http://www.jiwet.jp/school/school-04\\_018.htm](http://www.jiwet.jp/school/school-04_018.htm)

●1月のサロンは「水の天使」酒井美帆さんをゲストに開催しました

今回は2013年新春のサロン、ゲストはミス日本。ということで、司会にはメルマガでおなじみのミセス下水道機構の登場です。華やかで温かい雰囲気サロンとなりました。

2012年ミス日本「水の天使」酒井美帆さんのお話は、水の天使として過ごした1年間と日本の下水道広報について考えたこと。「水の天使」の役割からこれまでの活動、そこから感じた下水道広報への提案などなど。酒井さんの感動、思いが心に伝わるサロンでした。世界水フォーラムの経験からは、日本は技術の高さが強みだが、一番文字の多い展示。これだと読むだけで終わってしまう。外国のブースは会話がメイン。日本も来場者と会話をはずませ、次につなげていく展示がいいのではとのご提案。会場で、もっと工夫しなければと思われた方も多かったと思います。当日の写真はこちらからご覧いただけます。

→ [http://www.jiwet.jp/mailmaga\\_yuimaru/staff-info/salon-vol.311.pdf](http://www.jiwet.jp/mailmaga_yuimaru/staff-info/salon-vol.311.pdf)

酒井さんはアナウンサー希望。今後の就活で希望が叶い、一層ご活躍されることを信じてます！

さて、次回技術サロンは、2月14日木曜日17:00からの1時間。ゲストには国土交通省下水道部の松原町村対策官をお迎えして、25年度下水道事業予算をテーマに開催します。現在編成中の来年度予算。最もホットな話題をご提供いただきます。皆様多数のご参加をお待ちしています！

※12月技術サロン、JSの藤本技術審議役様の資料を専用サイト登録者のページに掲載しました。登録者はこれまでのサロン資料がご覧いただけます。

公共団体等の方はこちら→ <https://www.jiwet.jp/members/gov/>

出捐団体等の方はこちら→ <https://www.jiwet.jp/members/support/>

---

。 〇 〇。

機構の動き (機構の行事予定です)

。 〇 〇。

◎1/16(水) 10:00~12:00 下水道クイックプロジェクト推進委員会

場所：下水道機構8階特別会議室

議案：今年度の取り組み方針、進捗及び検証状況等について

●1/16(水)~2/1(金) 下水汚泥エネルギー化の好事例説明会

※詳細はこちら→ <http://www.jiwet.jp/pdf/gesuiodei-energy.pdf>

●1/24(木) 横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する検討委員会

●1/25(金) 第61回(平成24年度第2回)新技術現場研修会

※参加お申し込みはこちら→ [http://www.jiwet.jp/school/school-01\\_061.htm](http://www.jiwet.jp/school/school-01_061.htm)

●2/8(金) 新技術研究発表会【大阪会場】

2/15(金) 新技術研究発表会【東京会場】

※参加お申し込みはこちら→ [http://www.jiwet.jp/school/school-04\\_018.htm](http://www.jiwet.jp/school/school-04_018.htm)

---

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●一期再会 (研究第二部 相方はひかりちゃんからの投稿です)

「一期一会」という四字熟語について、辞書では《「山上宗二記」の中の「一期に一度の会」から》茶の湯で、茶会は毎回一生に一度だという思いをこめて、主客とも誠心誠意、真剣に行うべきことを説いた語、転じて、一生に一度しかない出会いや一生に一度限りであるとされています。ただ、出会った偶然というのは一度きりかもしれませんが、一度の出会いから生まれる再会が度々あるということを私はこちらに出向してきてから数多く経験しています。親元で業務を共にした方や知り合った方と再会し、また業務を共にすることになったり、あるいは同じ職場になったりと、日々この業界の狭さを感じております。それ故に、一度の出会いを大切に、次に出会った時又は偶然業務を共にすることになった時に、お互い気分良く再会できるよう心がけることが大切だと思っております(なかなか再会を意識して何かをするということも少ないと思いますが・・・)。私の少ない経験から「合わない人ほどよく会う」ことが多いと思いますので。以上、お後がよろしいようで。

---

。○○。

まる子の結まーる (皆様との交流の場です)

。○○。

●今回は、1月1日付け、ニューフェースの研究第一部 森谷主任研究員からメッセージが届いていますのでご紹介します！

【研究第一部 主任研究員 森谷敦人】

本年1月に研究第一部の主任研究員を拝命いたしました。よろしく願いいたします。この出向で生まれて初めて"1月1日付け"の辞令をいただくこととなりましたが、そのために、出向を目前にした12月半ばころから、新年は「明けまして...」が先か、「初めまして...」が先か、とどうしてもよい悩みを抱えていたのを思い出します。それも杞憂に終わり、機構の方々には温かく迎えて入れていただいたことに深く感謝いた

しております。

さて、私はコンサルから参りました。前任者は単身赴任で来ておりましたが、私は自宅からの通勤です。したがって普通の生活はあまり変わりません。

一方で、機構での職務はこれまでとはいろいろと変わるのではないかと思うところがございます。この場で通暁していると言える分野はございませんが、今までの経験をベースに奮闘していく所存であります。

また、機構は新陳代謝が活発な組織ということもありますので、業務の流れに早く慣れ、少なくとも後進の方々には率先垂範として業務に携わることを心がけていけたらと思っております。

そうこう書いているうちに、上階で行われている下水道サロンが終わってしまったようです。せっかく本日は水の天使がいらっしやっていたのですが...

重ね重ねになります、これからお世話になります。どうか、よろしくお願いいたします。

\*\*\*\*

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



※テキストは原則 400 字以内。写真等はA 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

\*\*\*\*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション (2013.1.10 付、国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 吉澤正宏



先日、号外をお送りしましたが、通常号の平成 25 年第 1 号下水道ホットインフォメーションです。改めまして、あけましておめでとうございます。ほぼ所定が金曜日になりつつありますが、第 1 号は当初の木曜日発行でお送りさせていただきます。

本号では、皆様方からたくさんのホット情報をいただき、第 1 号を飾っていただきました。ありがとうございます。皆様方に支えられてのホットインフォメーションでございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

- GKP 広報大賞の募集を始めました【GKP (下水道広報プラットホーム)】
- 国連世界水評価プログラム 意見公募について
- 第 18 回「下水道循環のみち研究会」セミナーを開催します

【日本下水道施設業協会】

=====

●GKP 広報大賞の募集を始めました【GKP（下水道広報プラットホーム）】

今年6月にGKP（下水道広報プラットホーム）が立ち上がりましたが、その取組の一

環として、「GKP 広報大賞」を創設することにしました。下水道界で展開されているさまざまな広報のうち、面白い事例や効果の高い事例を広く発掘し表彰することにより、それを好事例とし、下水道界の広報活動を一層推進することを狙ったものです。詳細はGKPのホームページ（下記）をご覧ください。

ご遠慮は不要です！どんどん奮ってご応募ください！！

<http://www.gk-p.jp/taishou.html>

●第18回「下水道循環のみち研究会」セミナーを開催します

【日本下水道施設業協会】

第18回セミナーには、国土交通省から白崎下水道国際・技術調整官を講師にお招きし、下水道分野で期待の高まる再生可能エネルギーの創生や資源の回収利用に関するお話を伺います。白崎氏は、下水処理やエネルギー利用の効率化を目指して実規模レベルのプラントを設置して実証実験を行うB-DASHプロジェクトに係わってきました。同事業の今後の見通しや、固定価格買取制度(FIT)などの施策展開などについてお聞きし、下水道循環のみちを推進するための意見交換の場としたいと思います。

- ・テーマ：「下水道における再生可能エネルギーの開発動向と今後の展開」
- ・講師：国土交通省下水道企画課 下水道国際・技術調整官 白崎 亮 様
- ・日時：2月18日（月）15：30～18：00
- ・場所：日本下水道施設業協会 大会議室

東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館2階

・申し込み方法

ホームページ（下記）から申込用紙をダウンロードし、所定の事項を記入の上、FAX（03-3552-0993）にて2月13日（水）までにお申し込みください。

- ・お問い合わせ：河野（電話 03-3552-0991）

なお、第17回研究会までの講演概要をホームページに掲載してあります。

<http://www.siset.or.jp/>

<再掲>

報告会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の報告会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■下水汚泥エネルギー化の好事例説明会の開催について

【下水道企画課・下水道機構】

（平成25年1月16日～2月1日開催：開催地により異なる）

<http://www.jiwet.jp/pdf/gesuiodei-energy.pdf>

→12月14日掲載



いる自然との共存～」をテーマに特集を組んでおり、「生活に密着した新エネルギーに注目し、技術者や自治体、企業の実用例を紹介しながら、代替エネルギーの可能性について徹底的に考え（HPより引用）」る内容とのことです。

<http://www.bs11.jp/news/59/>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

---

発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/seikai3.pdf>

---